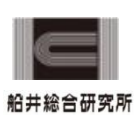
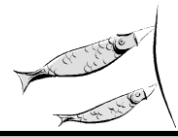


社長、元気ですか！



船井総合研究所

4月30日発行

～堂谷より～
3月の「法人顧客倍增倶楽部」は大盛況のうちに終了しました！ご参加くださいました皆様、ありがとうございます！！次回は6月18日（金）、船井総研東京本社にて行ないます！次回は、なんと、森松産業株式会社の森松取締役にご講演いただきます。昨年対比260%を実現した、マーケティング戦略についてお話いただきます。また、弊社からも特別講師として、取締役常務執行役員 五十棲 剛史が「大恐慌時代 これからの法人営業戦略」というテーマでお話をさせていただきます。今回は東京・大阪の会員様にお集まりいただく大イベント。ビジネスのチャンスも増えますので、名刺を沢山お持ちください！！

一 橋本の「元気の出る言葉」 『戦略的CSR』

こんにちは！社長、元気ですか？！
今月もいろいろな名言にめぐり合いましたが、「戦略的CSR」という言葉に、特にビビッときました！年商110億円の農業企業、ナチュラルアートの社長、鈴木誠氏



が著書で紹介されていた言葉です。ご承知のとおり、「CSR」とは「企業の社会的責任」のことです。企業が、儲けたお金を使って寄付をしたり、社員を使って地域貢献活動をしたりという行ないについて、CSRと言われることが多いようです。

しかし、鈴木氏は、「事業活動そのものがCSR」を果たす状態を『戦略的CSR』と言うと著されています。

私も本来の事業活動はそうでなければならず、これからは特にそうでなければ潰れてしまうと思います。社会にとって必要でないものは生き残れないからです。堅い話になってしまいましたが・・・
そんな企業を、皆様とガンガン創りたいです！



式 出口の「気合だ！」 『子供に残すもの』

先日、ある経営者の方と『自分の子供に何を残すべきか？』という話になりました。目に見えるもの（お金、会社、社長の座など）と見えないもの（考え方、スタンス、生き方）がありますが、やはり目に見えないものを残すことが大切だという結論に至りました。

両親がどう思っているかは分かりませんが、これまでの人生で私は親から何を貰ってきたのかを考えてみました。なかなか言葉で説明するのは難しいのですが、社会人になったころから『オヤジには尊敬の念、オカン（母親）には愛情の念』を感じるようになりました。母親からは家族に対する愛情のかけかたを学び、父親からは男として生きる道を教わってきたように思います。

男らしく正々堂々と、正直に、誠意をもって、何事も腹を据えて一生懸命頑張るスタンスを父親の背中を見て学んできたように思います。人間関係がどんどん希薄化していく時代、子供に最も近い存在である親がその背中で『考え方、スタンス、生き方』を見せ続けることが最も価値のある遺産になると思います。



子どもが生まれました！
2010年4月28日 15時

参 小川の「輪」 『元気を与える言葉』



4月。若い力が会社、そして社会へ新たな活力を注入する時期です。若い人材が社会に飛び出し、自分の目指す将来像を胸に抱き、夢中になって日々頑張る姿とその初々しさは見るだけで元気をもらえます。そのまま元気に疾走していけば問題ないのですが、人は必ずといっていいほど社会という壁にぶつかってしまいます。だからといって立ち上がらなければ何もはじまりませんよね。漫画『ドラえもん』の話の中に大人になったのび太が少年のび太にこのような言葉を送っています。

「一つだけ教えておこう。きみはこれから何度もつまづく。でもそのたびに立ち直る強さもってるんだよ」つまづいても自分を立ち上がらせるのは自分だけ。しかし、もし自社の社員がそのような状態に陥った時、立ち上がらせるきっかけを与えるのは社長の役目の1つなのかもしれません。何故なら会社も人も支えあうからこそ成り立つものですから。自社の若い社員がつまづいた時、社長、元気にさせてますか？

至心

四 堂谷の「今月のワクワク」 『仕事への意味づけ』

こんにちは、堂谷香菜子です。船井総研では、本年度の新入社員に対して、必ずある本を読むように伝えました。この本は、橋本も部署の新人に読むように、伝えられている本です。ほんのタイトルは「5人の落語家が語る ザ・前座修業」。一度ご覧になっていただければと思うのですが、この本は、一つ一つの仕事に、自分なりに意味づけをしなければならない、



ということがかかれています。当たり前ですが、「こんな仕事、なんでやってるんだろう」と愚痴を言っている社員ほど、しんどそうで、ミスも多い。そんな状況があるようです。目の前の仕事に、どんな意味があるのか、きちんと説明してあげていますか？

